

トップ奏者同士による「和」と「洋」が融合する唯一無二の世界

宮田 大 (チェロ) & LEO (箏)

デュオ・リサイタル

日本を代表するチェロ奏者「宮田 大」と、邦楽界の新星として注目を集めている箏アーティスト「LEO」によるスペシャルデュオ公演!!

デュオ演奏に加え、それぞれのソロも堪能できる贅沢なプログラムと楽器・音楽が描き出す様々な世界。

圧倒的な音楽性と感性が響きあうステージをお楽しみください。



<楽曲案>

- ◆Andata (坂本龍一)
- ◆春の海 (宮城道雄)
- ◆双魚譜 (吉松隆)
- ◆千鳥の曲 (吉沢検校)
- ◆鳥の歌 (P. カザルス)
- ◆空へ (今野玲央)
- ◆ラメンタチオ (G. ソッリマ) 他

※編成：チェロ、箏

※一行人数4～6名 1ステージ120分(休憩含) 一日1回公演

～プロフィール～



2009年、ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールにおいて、日本人として初めて優勝。これまでに参加した全てのコンクールで優勝を果たしている。その圧倒的な演奏は、作曲家や共演者からの支持が厚く、世界的指揮者・小澤征爾にも絶賛され、日本を代表するチェリストとして国際的な活動を繰り広げている。

スイスのジュネーヴ音楽院卒業、ドイツのクロンベルク・アカデミー修了。

チェロを倉田澄子、フランス・ヘルメルソンの各氏に、室内楽を東京クワルテット、原田禎夫、原田幸一郎、加藤知子、今井信子、リチャード・ヤング、ガボール・タカーチ＝ナジの各氏に師事する。

これまでに国内の主要オーケストラはもとより、パリ管弦楽団、ロシア国立交響楽団、ハンガリー放送交響楽団、S.K. ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団などと共演している。

「小澤征爾さんと音楽で語った日～チェリスト・宮田大・25歳～」(芸術祭参加作品)、「カルテットという名の青春」「NHKワールド“Rising Artists Dai Miyata”」などのドキュメント番組のほか、「クラシック倶楽部」「らららクラシック」「題名のない音楽会」「報道ステーション」「日経スペシャル招待席～桐竹勘十郎 文楽の深淵」「徹子の部屋」など、メディアにも数多く出演している。

チェロ奏者では異例のサントリーホール、ミューザ川崎など 2,000 席以上のホールが満席になったことでも話題を呼んだ。

近年は国際コンクールでの審査員や、2019年ロームミュージックセミナーの講師を務めるなど、若手の育成にも力を入れている。

使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1698年製A.ストラディヴァリウス“Cholmondeley”である。



1998年横浜生まれ。本名・今野玲央。9歳より箏を始める。

音楽教師であり、箏曲家のカーティス・パターソン氏の指導を受け、のちに箏曲家 沢井一恵氏に師事。

16歳で、くまもと全国邦楽コンクール史上最年少最優秀賞・文部科学大臣賞受賞。

一躍脚光を浴び、2017年19歳でメジャーデビュー。同年、東京藝術大学に入学。

テレビ「情熱大陸」、「題名のない音楽会」「徹子の部屋」「NHK紅白歌合戦：石川さゆり“天城越え”共演」「うたコン」など多くのメディアに出演。

セバスティアン・ヴァイグレ、井上道義、秋山和慶、沖澤のどかをはじめとした指揮者や、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共演し、ソリストを務める。

2024年にはウィーン及びスロヴァキアにおいて、それぞれ招聘され、好演を果たす。

2025年、6月、テレビ「題名のない音楽会」で、世界の歌姫サラ・ブライトマンとコラボし、話題を呼ぶ。

伝統を受け継ぎながら、箏の新たな魅力を追求する若き実力者として注目と期待が寄せられている。